

このプリントは、「文章検」を受けた皆さんの今後の学習の手助けになるものです。準2級レベルの内容を復習して実力を確かなものにし、さらに2級にもチャレンジしてみましよう。

問題と解答用紙は別になっています。自己採点して、間違えた問題は「学習の手引き」や「考えるヒント」を参考に復習してください。

学習の手引き

問1

文脈上適切な語句を選ぶときには、意味だけでなく用法(使い方)にも注意しよう。

▼次の問題にも挑戦してみよう

公式テキスト準2級 6〜12ページ
文章カステップ準2級 6〜17ページ

問2

帯グラフと棒グラフという二つのグラフが示されている。一つは親しい友人の数について、もう一つは親しい友人との付き合い方について、男女別の比較を示したものだ。文章は、両者を踏まえて、どのようなことが読み取れるかを述べている。

空欄を埋める問題では、データを正しく読み取ると同時に、文章の展開にも気をつけよう。

▼次の問題にも挑戦してみよう

公式テキスト準2級 21〜24ページ
文章カステップ準2級 18〜27ページ

★資料分析の問題

資料分析の問題を解くときには、文章とデータを対照させて読むことが必要です。また、書き手の主張を読み取ることも忘れてはなりません。

基礎問題

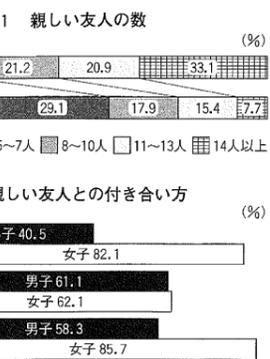
問1 次の1〜3の問いについて、最も適切なものをア〜ウのうちから一つずつ選びなさい。

- 1 「大同小異」と意味の似たことばはどれですか。ア 雲泥の差 イ 五十歩百歩 ウ 同床異夢
- 2 「にべもない」を正しく使っているのはどれですか。ア だれからの依頼でもにべもなく引き受ける。イ 親友からの依頼をにべもなく断る。ウ 信用してよいかわからない人にもにべもなく依頼する。
- 3 「予約や約束を取り消す」という意味のことばはどれですか。ア キャンセルする イ ストップする ウ シフトする

読解問題

問2 次の文章を読んで、後の問い(1〜3)に答えなさい。

中学生の生活にとって、友人は非常に重要な要素である。そこで中学生の友人関係について、A市の公立中学校三校に通う二年生の男女四八〇人を対象に、「親しい友人の数」「親しい友人との付き合い方」について調べた。



その結果が図1・図2である。図1を見ると、男子は「一四人以上」の友人がいると答えた割合が最も高い。これに対し、女子は「五〜七人」が最も多く、近い値で「一〜四人」が続いている。ここから、男子は多人数と親しく付き合うが、女子は少数の友人との親しい関係を好むという傾向がうかがえる。また、図2は、各項目について「はい」と答えた人の割合を示したものだ。ここでは「いつも一緒に行動する」「悩みを相談しあう」という二つの項目において、女子の方が明らかに数値が高いことがわかる。女子は男子に比べ、より固定的で緊密な友人関係を築いていると言えらる。図1の結果と合わせれば、

友人関係を築いていると言えらる。図1の結果と合わせれば、さらに図2をくわしく見ると、「悩みを相談しあう」という項目において、「はい」と答えた男子は女子のほぼ半分しかいないことが目を引く。これは一見、男子が女子よりも秘密主義であるとか、友人を信頼していないとかいうことを意味しているように思える。しかし、必ずしもそうとは言えない。というのも、一般的に男子は「何も言わなくとも理解しあえる」相手を親友だとし、女子は「秘密を何でも打ち明けられる」相手を親友だとみなす、というような解釈も成り立つからだ。すなわち、男子は親しい友人だからこそ悩みを相談する必要がなく、むしろ、相談せずとも互いに察しあうことで友情を成り立たせていると考えられるのだ。したがって、女子が男子より固定的で緊密な関係を好むとしても、それで女子の方が友人とより親しく、より友人を信頼している、ということにはならないのである。

1 この文章のテーマは何ですか。最も適切なものを、ア〜ウのうちから一つ選びなさい。

- ア 中学生における男女の傾向の違い
- イ 中学生にとって重要な友人関係
- ウ 中学生の友人関係に見られる男女差

2 空欄に入る内容として、最も適切なものを、ア〜ウのうちから一つ選びなさい。

- ア 男子は多人数のグループで行動し、女子は少数で行動すると考えられる
- イ 男子は「表面的」、女子は「内面的」な付き合いを好む傾向があると考えられる
- ウ 男子は「広く浅く」、女子は「狭く深く」という友人関係をもつ傾向が強いと考えられる

3 傍線部の内容に、より説得力をもたせるためには、どのような図表を加えればよいでしょうか。

- ア 秘密をもっているかどうか、その秘密はどういうものかを調べ、内容別にまとめた表
- イ 部活動の友人や学習塾での友人など、場面別の友人関係を調べてまとめた表
- ウ 「親友とはどういう存在か」について調査した結果を男女別にまとめたグラフ

◆うらへ続く◆

考えるヒント

問1

- 1 「大同小異」は、小さな違いはあっても、だいたい同じであるという意味。
- 2 「にべもない」は、「そっけない・愛想がない」という意味。
- 3 ホテルやレストランの予約を取り消すときによく使うことば。その時期によって取り消し料金が発生する際にも「〇〇〇料」という使い方をします。

問2

1 文章全体から、何について述べた文章なのかを読み取る問題。

2 図1からは、男子は多人数と親しく付き合うが、女子は少数の友人との親しい関係を好むことがわかる。図2からは、女子は男子に比べ、固定的で緊密な友人関係を築いていることがわかる。両方の結果をあわせて言えることはどれか。

3 傍線部「男子は何も言わなくても理解しあえる相手を親友ととらえ、女子は秘密を打ち明けられる相手を親友だととらえる」ことの根拠となるデータにはどれがふさわしいかを考えるとよい。

問3 依頼される人の立場や気持ちを考えながら、書く内容を手紙の目的に合わせて選ぶ必要がある。

問4 手紙文に必要な敬語や独特の言い回しなどについて、正確な知識を持つよう。

★間違いやすい敬語

*ご〇〇してください
*お〇〇してください
これらは、敬語訂正の問題の中でも正解率が低いので、注意しましょう。どちらも、尊敬語を使うべきところに謙譲語(ご〇〇して)がまじっているのが、全体として誤りとなります。

誤ご説明してください
正ご説明ください
誤お招きしてください
正お招きください

▼次の問題にも挑戦してみよう

公式テキスト準2級 32～36ページ
文章力ステップ準2級 42～51ページ

問5 準2級の論説文では、第4段落で自分の意見とは異なる意見を取り上げて、それに反論する。これは、異なる意見の問題点を指摘して、自分の意見のほうが優れていることをより強く示すためのものである。

問6 異なる意見を想定して取り上げ、それに反論するために、「ブレイン・ストーミング」を活用しよう。異なる意見と、それを論理的に否定できる材料を見つげるために、どんな思いつくことを書き出していくとよ。

▼次の問題にも挑戦してみよう
公式テキスト準2級 38～47ページ
文章力ステップ準2級 52～67ページ

作成問題1(手紙文)

問3 あなたは、海外旅行の企画を頼まれました。そこで、後輩に貸しているガイドブックを参考にしたいと思い、後輩にあててガイドブックを返却してくれるよう手紙を書くことにしました。次のア～エは手紙に書く内容を思いつくままに書き出したものです。この中で、手紙に書く内容としてふさわしくないものを、ア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 海外旅行の企画を頼まれたので、貸しているガイドブックを参考にしたいこと。
- イ 以前違う本を貸したとき、なかなか返してくれなかったこと。
- ウ 急に返却してほしいなどと、勝手なことを依頼して申し訳ないという気持ち。
- エ いつまでにガイドブックを返してほしいかということ。

問4 次の1～3は、縦書きの手紙の一部です。それぞれについて、最も適切な語句を、ア～ウのうちから一つずつ選びなさい。

- 1 先日は、突然のお願い(ア)にもかかわらず(イ)ですので(ウ)に関して、ご快諾くださりありがとうございました。
- 2 お忙しい中、詳しく(ア)お教えして(イ)お教え(ウ)お教えなさって(エ)くださいましたこと、感謝いたしております。
- 3 今年も、(ア)左記の通り(イ)左述のごとくに(ウ)別紙を参照の上(エ)恒例のクラス会を開きますので、多くの方のご出席をお待ちしています。

作成問題2(論説文)

問5 次の「意見」と「理由」に対する、「異なる意見」とそれへの「反論」の組み合わせとして最も適切なものを、ア～ウのうちから一つ選びなさい。

意見 「電子書籍が普及している状況の中でも、紙の書籍は必要である」
理由 「紙の書籍は線を引いたり書き込んだりでき、時間が経過しても思い出や記念として価値を持つから」

- ア 異なる意見 「紙の書籍は、時間の経過とともに傷んだり、破れたりして読めなくなる」
反論 「確かに時間の経過とともに破損して読めなくなることがある。だからといって不要だとは思わない」
- イ 異なる意見 「紙の書籍は保管するとき本棚に並べることになり、場所をとるのが問題だ」
反論 「場所をとって並べるからこそ、全部の背表紙などを見回すことが可能になり、新しいアイデアが浮かぶ。場所をとることは利点であって、欠点ではない」
- ウ 異なる意見 「紙の書籍の原料を得るためには、森林の伐採が必要となる。自然環境保護の観点から紙の書籍はなくなった方がよい」
反論 「紙の書籍には電子書籍にはない長所があるのだから、紙の書籍はなくしてはいけない」

問6 「何事も上達するためには毎日練習することが大切だ」という意見に関して思い当たることを、思いつくままに箇条書きで書き出さない。(9個以上)

- 手がかり
- ・今、上達したいと思っているものがありますか。それは何ですか。
- ・上達するための方法には、どんなものがありますか。
- ・毎日練習した結果、上達したものはありますか。反対に上達しなかったものはありますか。
- ・途中で練習を中断した結果、上達しなかったものはありますか。
- ・簡単に上達するという学習方法や練習方法を試したことはありますか。結果はどうでしたか。
- ・練習は毎日するのと少し間を置いてするのは、どちらが効果的ですか。
- ・やむを得ず練習を中断した後、練習を再開したことはありますか。その時どう感じましたか。

考えるヒント

問3 手紙を読む人の行為をだいなしにしてしまったり、気分を害してしまったりすることは手紙に書く内容としてふさわしくない。

問4 1 「それなのに」という意味のつなぎ言葉として適切なものを選ぶ。

2 「教えて(くれた)」の尊敬語として適切な表現。

3 縦書きの手紙で記書きの形式を用いた場合は左に示した「記」の箇所という意味の表現を用いる。

問5 「異なる意見」は、自分の意見と明らかに異なっていて、かつ自分がしっかりと反論できるものを選ぶのがコツ。異なる意見をいったん認めてしまったら、見当違いの反論をしてしまったりすると、自分の意見の優位性を示せなくなる。

問6 4段落構成である準2級の論説文を書くための材料を探すときにも、ブレイン・ストーミングをうまく活用するとよい。
ブレイン・ストーミングを通じて、いろいろな立場から物事を考えられるようになる。